

議会

No.255



議会だより7月号でお知らせした次回定例会の開催予定が変更になりました。
【9月定例会の予定】※現時点での予定です。
会期 9月1日～15日 一般質問 9月6日・7日
【請願陳情締切り】 8月16日

議会に対するご意見をお聞かせください。

電話

☎0269(82)3111
(内線170)

E-mail

gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

発行：木島平村議会
編集：議会だより編集委員会



アイデアとやる気で木島平村創生へ・にぎやかそう！

山本 隆樹 議員

ふるさと納税について

質問

この制度は、2008年に創設され15年経過している。メリットとして、自治体側は幅広く収入を確保できることに加え、特産品を返礼品にすることによって、地域の消費を拡大することともに、観光PRにもつなげることができ、木島平村へのファン、サポーターとして応援いただける。

村の現状を伺う。

湯本産業企画室長

寄付額の推移は、平成26年度から制度を活用して以降、3000万円前後で推移。令和2年度に6900万円の寄付をいただいて以降、令和4年度実績では5899万円となっ

ている。件数は、おおむね寄付額に比例し、令和2年度以降、1500件から2000件前後で推移。

返礼品の動向は、件数ベースでは、ハチミツ、村長の太鼓判をはじめとした米、野沢菜などが人気であり、寄付金額ではマッサージチェア、村長の太鼓判、信越自然郷共通リフト券などが上位。

令和5年度の目標数値は、当初予算ベースで5000万円の給付額を見込むが、最終的にはスキー場等、新たな返礼品の期待もあり、おおむね8000万円前後を目標と考えている。

寄付額増の取組みは、村内の事業者や生産者の皆さんに、積極的に周知をしながら、新規返礼品の提案と募集を行っていくほか、E・B・I・K・E・L・E・N・T・A・Lやツアーなど、観光振興局などとも連携しながら、村内における体験の返礼品も検討している。

また、インターネットを通じての寄付が大半を占めているため、寄付の窓口となる「ふるさと納税ポータルサイト」での魅力アップや、返礼品の魅力が伝わる写真編集などに取り組んでいきたいと考えている。

さらに、スキー場とも新たな返礼品について検討していく予定であり、今後、事業の内容が確定したところで協議を進めていきたい。

近隣市町村との比較と課題として、北信管内の6市町村との比較では、令和3年度の寄付額は少ない方から2番目。

返礼品の違いは、中野市は果樹、飯山市はパソコン、山ノ内町・野沢温泉村は宿泊券を中心としている。

本村は、米やハチミツなどの農産物を中心としており、少し高額で普段なかなか買えないような返礼品が少ないといった課題がある。

前述の寄付額増の取組みを行いな

がら、新たな返礼品の工夫も含めて寄付額の増加を図る。

ファームス木島平の未来

質問

一般質問で毎回のように取り上げられ、答弁として「今後も必要な場所として考えている。住民の皆様のご意見を伺いながら、地域活性化、賑わいを創出できる施設として検討を進める。今後、運営を希望する民間事業者と共に検討を進めていく」としている。今後の運営改善方針を伺う。

村長

国庫補助事業による長期利用財産であるため、令和7年3月以降に運営を希望する民間事業者と共に、真に必要な機能を備えた施設を整備することで村の活性化を牽引する施設運営をめざしていく。

今後、施設のコンセプトや整備内容、公共的機能について関係者や村民の皆様の意見をお聞きする機会として、検討委員会を予定している。施設の規模や事業費、集客機能、公共性、今後の維持管理方法、将来性などを併せて検討していく。

令和5年6月第2回定例会において一般質問を行いました。要旨は、質問者自身でまとめています。



持続可能な村とは「農業が元氣・地域が元氣」だ。

関 達夫 議員

持続可能な農を育む

質問

農業生産に関わる飼料、肥料、農薬などの価格が高騰している。特に酪農は飼料価格の高騰により危機的状況にある。北海道では多数が廃業に追い込まれている。

村内の酪農の糞尿処理の解決のため堆肥センターは造られ、「有機の里」の発信による堆肥の利用が農家に浸透し、農家の支援にもなっている。

今まさに肥料高騰のとき、堆肥利用の再確認を。農業で成り立つ本村は、環境にやさしい循環型の農業、消費者志向に合った有機栽培の農業、農産物を積極的にPRすべきと思う。

①堆肥センター運営にあたり、近隣区との話合いの状況と方向について、どう対処していくか。

②施設の運営はきのこ農家、酪農の支援のためにも廃止はすべきでない。今の考えは。

③牛乳の消費拡大の施策は。

村長

①地元関係者の皆さんと協議を進める必要があり、村の方針だけでは難しい。相談させていただく。

②必要な施設と理解している。密閉型でなく、開放型施設にしていくことを優先に考えている。

③村レベルでは難しいため、JA等に対策をお願いしていきたい。保育園、学校には毎日提供している。

再質問

堆肥センターは臭いを問題にするのでなく、「堆肥は村の有機農産物を作る上で必要」と広報し、農業者、消費者双方に理解を求めるべき。開放型の施設の建設場所および予算は検討しているか。

村長

周辺住民の皆さんの理解の上で成り立っている。生活環境に配慮しないといけない。

湯本産業課長

現時点では今の場所を考えているが、周辺住民の皆さんと協議したい。予算の概算は把握している。

職員のキャリアアップと 村民の満足度は

質問

「村民生活の向上と安心して暮らせる持続可能な村づくりをめざす」と村長の施政方針にあり、それを実行するのは職員である。

民間企業の人事評価制度と手法に違いはあると思うが、めざすところは同じ。企業は人なり、役場も人なりだと思う。

村民の負託に応える職員のやりがいやどう育て、スキルをどう上げていくか、手法を伺う。

村長

職員のやりがいは、組織の成果に繋がる大事なことである。村人材育成方針に基づき、意識改革、意欲や能力向上、自己啓発の一層の推進を図っている。管理職員は、積極的に職員間との意思疎通を図り、日常の課題解決に取り組み、村民から信頼される職員をめざして、人材育成を今後も継続していく。

丸山総務課長

人事評価は、能力評価、業績評

除雪体制の見直しを

質問

除雪は住民にとってはハンデキャップと感じ、若年層の村外流出にも影響を与えている。

①除雪計画の見直しを。

②区長を通じて除雪の依頼をしているが、降雪量の多い時、電話依頼は何件あるか。

③朝7時までに除雪を終了するとあるが、各作業員任せで遅れないか。

村長

①安全で円滑な冬季交通の確保を図っている。安定した除雪体制が維持できるよう協力願いたい。除雪計画は毎年見直しを行い、改善しながら進めている。

小松建設課長

②圧雪処理等は要請に応じ、その都度対応しているため、依頼件数等の統計はとっていない。

③大雪で除雪作業に時間を要する場合、午前7時の完了を目標に、午前2時やそれよりも早い時間に作業に入る場合もある。昨年度からGISシステムを取り入れ、除雪車の位置情報をリアルタイムで確認できる。効率的に対応していく。



観光施設民営化等に伴う「村の負担軽減分」はそのメリットが実感できる施策に充当を！

江田 宏子 議員

観光施設完全民営化に伴う対応等について

質問

- ① 民営化に伴い、軽減が見込まれる「村の負担額の試算」と譲渡による「固定資産税の見込額」は。
- ② ①の相当額(または何割か)を充当施策として位置づけたり、基金等で積立てたりする考えは。
- ③ リフト券やパノラマの入湯料等、村としての村民割引の対応は。
- ④ ホテルシュースベルク・にこにこファームの今後の考えは。

村長

- ① パノラマランドの大規模改修やリフト更新など含め10年間で約29億4千万円(年平均で約2億9千万円)と試算。
- ② 社会保障や子育て環境の充実など、人口減少対策を進め、現時点で試算額の積立は考えていない。

湯本産業課長

- ① 固定資産税の見込額は税情報なので答えられない。
- ③ スキー場は中学生までの割引を予算化。入湯券も予算化したが、馬曲温泉の運営事業者がいなかったため、発行の用途はついていない。

再質問

- ① リフト券の大人の割引は。
- ② 公社でのそば栽培にメリットはあるか。にこにこファームを借りたという声もある。

村長

- ① 場合によると村負担も考えられなくはないが、その際は、議員の理解をお願いしたい。

湯本産業課長

- ② クロスカントリーコースとの調整もあり、多様な活用が想定されるなら、改めて検討が必要。

廃棄物の削減等の対策について

質問

- ① 可燃ゴミ削減の具体的な取組みは(他の自治体の実践内容も例示)。
- ② 「衣類&古布回収」の回数増や、「陶磁器回収」「プラスチック製品の分別収集」はできないか。
- ③ 学用品の学校備品化や、学用品・制服・運動着等のリユース(おさ

山寄民生課長

- ① 広報等での特集、生ごみ堆肥化機器購入費補助額の改定など。
- ② 「古布回収」は実施時期や回数を検討。「陶磁器・プラ製品」は、飯山市の状況(試行)を参考に、岳北広域3市村で実施を検討。
- ④ 県主体で行っている立入検査の内容は、違法回収や保管状況など。鉄くずの積上げは崩れる危険性もあり、景観に配慮し、残置しないことなどの指導を行っている。

小松建設課長

- ④ 屋外における物件の堆積で、高さ3mまたは面積100㎡を超える行為は、景観法の規定で30日前までに県への届出が必要。県の景観条例適合への指導も可能。県と相談し対応したい。

島崎子育て支援課長

- ③ 基本的には個人持ちとし、学校備品化は考えていない。リユース制度は、現在準備中。

子どもに関わる政策について

質問

「地域で子どもを育てる」ことが、ますます重要になっている。

- ① 「子ども基本法」の制定により、これまで以上に力を入れようと考えていることは。
- ② 様々な体験活動の提供、時間的な保障や見守る姿勢等、現状の取組みと今後の構想について。
- ③ 中・高校生の居場所づくりも大事。具体的な考えはあるか。
- ④ 雨天や冬の遊び場、長期休み中の居場所づくり等ができないか。
- ⑤ 「主権者教育」「キャリア教育」の取組みの現状と今後の構想は。

関教育長

- ① 妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない支援を大事にしたい。一人一人の人權、子供の意見が尊重される心理的安全性が保たれる環境を作っていきたい。
- ② 体験活動として、生涯学習課の「木島平村ふるさと大学」等で、参加しやすい様々な講座を計画。
- ③ 長期休みに、農村交流館の研修室、ラウンジ、図書館を開放している。
- ④ 新しい施設を作ることは厳しい。現在ある施設を活用していく。
- ⑤ 小・中学校ではキャリアパスポートを使用したキャリア教育を実施。自ら学習状況やキャリア形成を見返し、自身の変容や成長を自己評価できるようにしている。



馬曲温泉1年間休業。

早期再開を望む声に添えてほしい

山浦 登議員

観光施設民間譲渡 契約後の対応について

質問

将来にわたり村民の望む方向で契約書を補足する合意文書を交わす必要があるとの意見をどのように受け止めるか。

11年目以降、観光施設に関して疑義が生じた場合、どのように対応される考えか。

村長

契約の基本として、どちらかに不利益を約束する契約はできないということを基本として、リスクを買主側や事業実施側に制約を付けることができない。

観光施設を売却、譲渡する環境にあって、そういった制約があるリスクを負ってまで木島平にこだわる必要はないと考えるのが普通だ。

再質問

2月22日にSBC社長が、村民の前で述べられたことは大変重要。「転売はしない」「変更の際は村に相談する。」この内容を後世、契約当事者が交代することを想定し、双方が守り実行するために合意内容を文書で取

り交わすことは絶対必要ではないか。

湯本産業課長

口約束であっても契約が成立すると解釈している。また、そういった状況になった場合には、協議をすることが大前提と考えている。

馬曲温泉再開の見通しについて

質問

村の観光施設であり、村民の憩いの福祉施設でもある馬曲温泉が1年以上休業すること、経営面や村の福祉政策面にどのような影響を及ぼすと考えているか。

新事業者が決まるまでに1年間の休業期間があるが、再開を望む利用者の期待に添えて外湯だけでも再開できないか。「公募して応募がなければ、運営事業者が決まるまでの間、村により規模を縮小して営業する」との方針が示されているが。

村長

できるだけ早い段階で再開できるように進めている。

湯本産業課長

新源泉の掘削は、概算3億円を超えると想定。現状の源泉で運営事業者の選定を進め、状況によって新源

泉の検討をしていく。ポンプなど著しく劣化した設備を一体に整備し、新たな体制でスタートする。

再質問

議会で視察の際、温泉の内湯浴槽に湯が入っており、ポンプを止めることができないと説明があった。

湯本産業課長

揚湯、送湯ポンプは劣化が進み、ポンプを止めることは非常にリスクが高く、止めることができない。一時休止し、整備してから、再開に向けて準備を進めたい。

子育て支援策について

質問

子育て支援三つのゼロの政策を提案する。

一つは、小中学校の給食費のゼロ。二つには、国民健康保険税ゼロ。18歳以下の国民健康保険の保険税等均割をゼロ。

三つには、医療費のゼロ。

三つの提案を現在の被保険者数で試算した場合、必要な予算は。

村長

三つの試算については、給食費の現在の児童負担分が約1820万円、

国民健康保険税関係が121万円、医療費関係では約442万円ということ合計2383万円と試算。

現時点では、実施する計画はないが、既存の事業の効果等の検証を含め、少子化対策について検討を進めている。

地球温暖化対策について

質問

地球温暖化対策委員会は、毎年1回、進捗状況の評価、次年度の方針を決定しているが、委員会での温室効果ガス削減取組みの評価は。事業は計画どおりに進んでいるか。実行計画の周知が足りないのでは。

村長

地球温暖化対策は、世界全体で取り組まなければならない大きな問題であり、短期間で成果を出すことは困難。村民理解を得ながら、今後継続して計画的に進めていく。

丸山総務課長

令和3年11月に改定した地球温暖化対策実行計画は、4年度からの計画となっているため、委員会による効果検証は本年度からとなる。

馬曲川発電所設備改修、役場庁舎への太陽光発電設備設置。一人一人が気候危機打開に向け、生活様式の見直しも必要。村民の意識醸成が大切。広報や公式ウェブサイトを活用しながら情報発信に努めていく。



村の将来に明るい展望を作るのが 行政の使命である。

丸山 邦久 議員

の資料として1社からもらっている。その後、正式な見積りを徴収した段階で1社になった。

村の情報開示に対する 姿勢について

3期目の具体的な政策について

質問

2期で何を成し、何をやり残したのか。3期目の政策は何か。

村長

村民生活を支える課題解決に取り組んできた。やり残したことは、観光施設の民営化、少子化対策、道の駅ファームスの再構築である。

再質問

1 観光施設を売却せざるを得なくなったことへの責任は。

2 この売買契約は、商法で禁じている自己契約ではないのか。

村長

1 村が経営していくことは難しい。
2 弁護士と確認をしながら進めているため問題ないと考える。

観光施設の売却価格について

質問

土地62ヘクタールと観光施設18を一万円で売る根拠は。

湯本産業課長

「不動産鑑定評価額」を基準として村有財産評価委員会で決定した。

再質問

1 不動産評価書を議会に提出を。

2 村有財産評価委員は、副村長および課長で構成され、村長の意のままに動く組織ではないか。

湯本産業課長

1 公表はしない。
2 委員会の議事録は公開できる。

再々質問

一万円の売買価格は皆が驚いている。正当な価格と考えているか。

村長

観光産業が継続できるので良かったと考えている。

アドバイザー業務の費用 8292万円について

質問

アドバイザー業務費用8292万円は非常に巨額に感じる。
1 2社で見積りをして530万円高いにも関わらず選定された理由と選定された企業名は。

2 選定企業に委託した目的は。
3 どのようなアドバイザーに支払われた対価か。

4 報告書はあるか。
5 6325万円から8292万円に増額された理由は。

6 8292万円の価値のあるアドバイスを得られたか。

湯本産業課長

1 2社から見積りを取り、辻・本郷ビジネスコンサルティング㈱を選定した。
2 行政外の専門知識が必要となり委託を決めた。

3 不動産譲渡・株式譲渡に伴う法務支援。
4 報告書は頂いている。

5 当初見込んでいた譲渡スケジュールの延長（10月↓3月）と、馬曲温泉の会社分割業務追加のため。

6 本業務なくしてできなかった事業であると判断している。

再質問

1 議会の説明資料に2社の見積りがあったが、本当に見積りは2通あるのか。
2 なぜ、社名は伏せられたのか。

湯本産業課長

1 概算見積りは1社である。

2 選定の前のため企業名は伏せた。

再々質問
1 議会に提示された2社の見積りの公開を。

2 なぜ途中で1社になったのか。

湯本産業課長

1（答弁なし）
2 概算見積りは、予算要求するため

質問

今年の3月議会で、観光施設売却の契約書が提示されたが、すぐに回収されたと聞いた。観光施設は村民の共有財産であるから、積極的に情報開示すべきでは。

村長

契約の内容に、事業継続、社員の雇用の継続、買戻し特約の設定の3点を盛り込んだ。議会に契約書の内容を確認していただき、議決をいただいた。

契約締結前だったため回収した。

再質問

1 社員の雇用継続が契約書にあるというが、すでに3分の2の社員が退職している。

2 買戻し特約の登記がされていないが、手落ちではないか。

湯本産業課長

1 自主退社と聞いている。

2 今後、買戻し特約の登記をする。

再々質問
先に抵当権設定の登記をされたら、契約書の買戻し特約は何の意味もなさない。

湯本産業課長

登記を早くするよう依頼している。



村民のために開かれた村政を

地域活性化起業人について

質問

2年間の実績と3年目の計画は。また、地域資源の発掘・コンテンツ化・商品化した運用販売の内容や新たな事業の検討などの進捗状況は。

村長

合同会社シユタインと協定し、企業の持つノウハウを生かし、観光振興について、令和3年度から観光振興局において業務を行っている。

湯本産業課長

地域の魅力を形にし発信すること、四季を通じた魅力づくり（スキー場依存からの脱却）をテーマにしている。

1年目の村内でのヒアリング、市場調査等を経て、翌年からE・B・I・K Eの商品づくり、トレイルランニングを中心としたコースのデータベースづくりの検討、カヤの平高原の活用提案などを行っている。

また、地域おこし協力隊の採用にも関わり、将来的には村内での定住や創業への誘導、教育支援を行っている。

あわせて、カヤの平高原の有効活用も提案いただき、今年度は、

合同会社シユタインがカヤの平高原の指定管理者として管理運営を行っている。

再質問

カヤの平高原の有効活用の提案とは。

湯本産業課長

キャンプを始めとして、地元の方を含め、大勢の方に訪れていただく取組みを進めていく。

再々質問

物事を進めるときは、立案、実行、結果の検証、評価、改善をしていくが、結果の検証、改善が見えない。これが不安要素ではないか。行政も計画を実行することが目的にならないよう村の活性を。

湯本産業課長

地域活性化起業人は最終の3年目になっている。観光振興局内総会で事業報告している。村の取組みでもあるため、ある程度の内容についてはお伝えしていきたい。

湯本 行浩 議員

地域おこし協力隊の取組みについて

質問

行政ではできなかった柔軟な地域おこし策、斬新な視点の提案はあったか。自身の才能・能力を活かした活動、理想とする暮らしや生きがいの発見のために、話合いとフォローをしているか。

丸山総務課長

自身の能力や才能を活かした活動を中心に活躍。日々相談をしながら活動を支援している。

再質問

村全体でもっと彼らに寄り添う必要があるのでは。

丸山総務課長

基本的には協力隊員の自主性に任せている。相談等があれば、こちらの意見や延べ、支援も対応していく。村全体で協力することで定住者も増えると思うが、検討を。

丸山総務課長

協力隊の意向を確認して、必要があれば機会を設けていきたい。

ファームス木島平について

質問

①現在、運営を希望する事業者がいるとのことだが、その後の進捗状況は。また、事業計画は出ているか。
②タイムスケジュールは。

湯本産業企画室長

①施設のコンセプトも含めて再検討。運営希望者は「公民連携手法」等も参考に手法を検討し、公募していく。その中で事業計画、運営のアイディアなどを提案いただく。

②再生整備は、複数年にわたり改めて説明の予定。今年度中に基本計画の策定、来年度に実施方針と募集要項の公表、令和7年度に事業者選定および施設整備工事関係の契約、令和8年度に整備、令和9年度に新たな施設と事業者による運営開始を想定。

再質問

4年間は現状維持か。また、新たな施設は公金を投入するのか。

湯本産業企画室長

大きく変更する予定はない。国の有利な補助金等の活用を想定。

再々質問

令和8年度に実施できないか。

湯本産業企画室長

長期利用財産のため、国に財産処分の届出をし、具体的に動けるのが令和7年4月からとなる。



馬曲温泉は、暫定的に風呂だけでも営業を！

山崎 栄喜 議員

馬曲温泉の運営について

質問

馬曲温泉は、いままでの譲渡方針から、20年間の長期貸付に変更し、公募プロポーザルにより運営事業者を選定し、再開は来年4月以降になるという。そこで、

①新源泉の掘削は村が行うのか、運営事業者が行うのか。また、掘削を村が行う場合には、その費用と財源は。

②施設の修繕及び改修は運営事業者の負担で実施。土地貸付料は3年間無償、4年目から20年目まで総額2386万8千円を村に支払う。この条件で運営事業者が決まる見込みがあるのか。

③運営事業者が決まるまでの間、暫定的に温泉だけでも営業できないか。

④運営経費捻出のため、クラウドファンディングや、ふるさと納税返礼品に入湯券を加えてはどうか。

※クラウドファンディングとは：目的等に賛同した多数の人からの資金を財源にし、事業等を行うこと。

湯本産業課長

①村の所有であり、村負担を想定。できるだけ村の負担とならないよう検討する。

②民間事業者の参入リスクをできるだけ軽減するため、初期投資分と大きな将来投資リスクを軽減する。

③今のところ予定はない。

④クラウドファンディングは難しい。ふるさと納税による寄附が現実的で、参考にする。

再質問

①プロポーザル概要では、新源泉の湧出量が毎分100ℓを切る状況になったら協議するところ。

一方、施設の修繕及び改修については事業者負担で実施するとあり、整合性が取れない。新源泉掘削の財源は、明確な答弁がなかったが、議員とすれば審査に必要。

また、全額村費でも掘削を行うのか。

②お湯は現在も出続けている。村民や観光客に寄り添い、少しくらい村の負担が生じて、温泉だけでも早期に再開を。

村長

②人件費、ポンプの電気料、加温に

係る光熱水費がかなりかかる。どれくらいの村負担になるか算出して検討する。

湯本産業課長

①新源泉の財源は、運営者が決まっていなくてもあり検討中。

また、全額村費での掘削は難しい。

再質問

プロポーザル要綱決定までに、財源が決まるのか。

湯本産業課長

新源泉の負担は、公募要綱の中に示していく。

100ℓが、その運営事業者にとつて必要な量なのか、また、全然足りない量なのか、わからない部分もあり、表記については、早急に検討する。

村民との対話集会の開催について

質問

長野県は、知事が県内すべての市町村を訪問して語り合う「知事との県民対話集会」を開催している。「対話と共創」を図る開かれた県政の取り組みであり、大変意義深い。

本村では、毎年地区づくり懇談会

を開催してきたが、年々開催する区が減少し、村民が村に意見や要望を伝えたくても、なかなか機会がない。本村でもテーマを絞り、村民と直接対話する機会を設けたらどうか。

村長

村では、第7次総合振興計画の策定にあたり、現在、各団体の皆様にテーマに沿ったヒアリングをお願いし、私も参加し、ご意見やご提案を伺っている。

現時点、対話集会は計画していないが、団体の皆様のヒアリングを進める中で、必要と判断した場合は実施する。

丸山総務課長

昨年度はアンケート調査を実施し、今年度は団体ごとにテーマを設定し、理事者出席の上でヒアリングを行っている。団体メンバーの皆様から、日ごろ感じている課題や将来に向けたご意見やご提案をいただいている。

再質問

一般村民の意見は、どのくらい反映されるのか疑問。

具体的に、ファームス木島平、馬曲温泉については、どの団体とヒアリングを行う予定なのか。

丸山総務課長

個々の施設への意見はいただいていない。今後、どういう聴取の仕方があるのか、担当課と確認する。



木島平の観光再生に「アイデアと力」を

湯本 直木 議員

観光行政について

質問

- ① 現段階で村のインバウンドに対しての誘客戦略は。
- ② ゴールデンウィーク期間中の村内観光施設への入込状況は。
- ③ 地域活性化起業人の統一コンセプトの実績・効果は。
- ④ 観光施設民営化の契約書内の「事業の運営状況について5年間は村への資料提供を行うこと」の具体的な内容は。

湯本産業課長

- ① 総合戦略の中に組み込まれており、現在活動中であるが、誘客活動の実績はない。今後の展開としては、村が先導して誘客をしていくのではなく、企業が行う取組みを支援していくことが効果的だと考えている。
- ② これまでゴールデンウィーク期間中の観光施設への入込数は馬曲温泉が中心であり、現在、馬曲温泉は休業期間中であるため把握していない。
- ③ 統一コンセプト「人づくり×里山」は、地域活性化起業人の募集のテーマとしたように「四季

を通じた魅力づくり、スキー場依存からの脱却」のテーマに繋がると理解している。観光振興局事業において、このコンセプトをよりどころとした事業展開を図っており、「E-BIKEの活用」や、村の米・食材でもてなしとして「村内企業との連携」「地域おこし協力隊を活用した幅広い情報発信」を実施。効果は、今後検証されると捉えている。

- ④ 決算報告書、事業の実施状況が分かるものを5年間提出することとしている。公共財産の譲渡であるため、一定期間はきちんと事業を行っているのか検証することを目的としている。

再質問

- ① インバウンドの誘客は、企業の取組みに対して支援していくとのことだが、企業との打合せは総合戦略の中のコメントと離れすぎではないか。
- ② 今後の村の観光施策を決定するに、過去のデータの蓄積は非常に大事。担当課でできないのであれば振興局のスタッフを活用するなど前向きに実施を。

- ③ 地域活性化起業人の実績の検証結果は、いつ公表できるのか。具体的な時期と方法は。また、業務報告や実績報告等の管理体制は。

- ④ 事業の実施状況が分かるものとしているが、本来であれば4月以降の事業計画書や収支予算書の提出があつてしかるべき。

湯本産業課長

- ① 総合戦略の数字は平成27年からのものであり、村の観光事情も変化しているため、見直しの必要がある。

- ② 滞在型観光の推進は、今後民間企業や宿泊事業者の方に合わせ、観光振興局の広域的な取組みを含めて滞在の数字を増やしていきたい。

- ③ 地域活性化起業人は、今年度が最終の業務期間。期間終了時にその効果はどうであったかの報告をする。業務提携先の合同会社シユタインとは、年4回の打合せ業務を行っており、今までの業務内容、これからの業務計画を確認している。

- ④ 具体的な書類について村としては、企業がしっかり事業をやっ

ているかが分かる書類ということで、事業規模が分かる損益書類と入込数が分かる書類と考えている。

再々質問

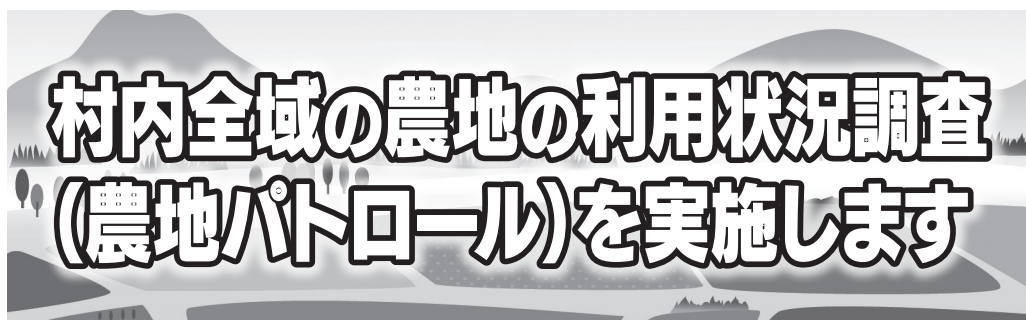
- (1) 地域活性化起業人の実績報告の内容は何を求めるか。
- (2) 民営化に関わる事業の情報公開はするのか。公開できるとすれば、どのような公開方法を予定しているのか。

湯本産業課長

- (1) 事業報告の様式は特に決まっていない。事業内容が分かる形でお願する。
- (2) 決算状況の公開は、一企業の場合であるため検討が必要。公開できるとすれば、入込状況などになると考えている。

そのほか、次の質問をしました。

- ・ 連携協定締結の6大学との連携の実績とその考察、今後の予定について
- ・ 第2期木島平村総合戦略の進捗状況について
- ・ 「木島平型教育」とは
- ・ 保育園、小・中学校の警備体制は
- ・ オムツの持ち帰りについて
- ・ 庁内の人事評価について



村内全域の農地の利用状況調査 (農地パトロール)を実施します



農地の利用状況調査（農地パトロール）

農業委員会では、8月から11月までの間、農業委員及び農地利用最適化推進委員による農地利用状況調査（農地パトロール）を行います。この調査は、遊休農地の把握と発生防止、農地の無断転用防止を図り、農地の確保と有効利用を目的として実施しています。調査のために農地に立ち入ることがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

この調査で、1年以上にわたって耕作されずに草刈りなどの維持管理もされていない農地や、周辺農地と比べて著しく低利用の遊休農地については、利用意向調査の対象になります。

利用意向調査

1月頃までに遊休農地の所有者に対し、今後の農地の利用について意向を確認します。

この調査で農地中間管理機構に貸し付けの意向があった場合は、一定の条件を満たす農地に限り、長野県農業開発公社が借受者との調整を行います。また、再生が困難と判断される農地については、非農地判断を行うなど適切な農地利用に向けて対応します。

遊休農地となる前に相談を！

遊休農地を解消することは、農作物が生産でき、さらに害虫・鳥獣害、不法投棄や火災等を防止することにもなります。もし農地の保全が困難になった場合は、地元の農業委員・農地利用最適化推進委員または農業委員会事務局へご相談ください。

「人・農地プラン」から「地域計画」へ変わります！

農地を維持し、集約化や人の確保等に向けた取組みを加速化するため、農業経営基盤強化促進法等の改正法が成立し、それに伴い、これまでの「人・農地プラン」から「地域計画」へ変わります。

「地域計画」では、新たに10年後に目指す地域の農地利用を1筆ごとに示した「目標地図」を作成します。「目標地図」は農業委員会が聞き取り等により収集した農地の出し手・受け手の意向と、将来の受け手をイメージとして地図に表示するものです。

村は農業委員会の「目標地図」の素案を基に、令和7年3月までに地域計画を策定することとなります。

なお、「目標地図」の作成にあたって、意向の確認を行う場合がありますので、皆様のご協力をお願いします。



農業者年金で安心
・豊かな老後を！

農業者年金に加入しましょう

老後の生活への備えは十分ですか。農業者年金は、農業に従事する皆さんの老後の安心のための備えです。国民年金プラス農業者年金で、安心・豊かな老後を迎えましょう。

次の要件を満たす方ならどなたでも加入することができます。

- ① 国民年金第1号被保険者
(国民年金保険料納付免除者を除く)
- ② 年間60日以上農業に従事
- ③ 20歳以上60歳未満



農業者年金のメリット

積立方式の終身年金で安心

80歳前に亡くなった場合には死亡一時金を支給

保険料はいつでも変更可能

月々20,000円から67,000円まで

税制面での優遇装置

支払った保険料は全額社会保険料控除の対象

若年層には手厚い政策支援

認定農業者等の青色申告者で35歳未満の人は10,000円補助

要件など詳しくは農業委員会事務局またはお近くのJAにお尋ねください。

全国農業新聞を読んでみませんか！

農業経営とくらしに役立つ農業総合専門誌（週刊新聞）
農家の思いを伝え農業・農村の「未来」をともに考えます。



- ① 解説に力点をおいたニュース報道と企画編集
- ② 農政・農業・農村の動き、問題をタイムリーに
- ③ 知っておきたい経営・流通情報と経営マインド
- ④ 読者の心に訴え、ともに考える
- ⑤ 老若男女が楽しく読める

- 発行日 毎週金曜日
- 購読料 1か月700円
- 申込み 農業委員会事務局へ

生き、活き 木島平

No. 567

みんなで楽しみをつくりだす村

「自然と文化を守る 人と地域をつなげる」



こどもスポーツ教室2023が始まりました

今年もこどもスポーツ教室が始まりました。最初の種目は空手です。指導してくださった方は、日本空手道連盟所属、日本スポーツ協会公認空手道指導員の山本啓太さん（中町）です。

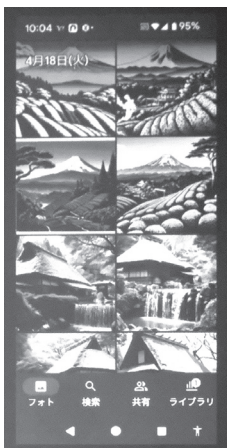
当日は、正座して両手について礼をするという武道ならではの挨拶から始まりました。こういう挨拶は初めてという子どもたちもいたかもしれませんが、準備運動が終わると、バランスをとったり敏捷性を養ったりする運動を何種類も経験しました。動きをよく見ると、一つひとつの動作が空手の動きにつながっているようです。とても工夫されていると感じました。子どもたちにとっては、楽しく真剣に取り組んだ2時間でした。

これから、10月下旬までたくさんの種類のスポーツを体験します。学校の体育では経験しない種目ばかりです。興味のあるご家庭は、お問合せください。

農村交流館0269（82）2041



スマホ活用教室 ～通話とメールだけでは意味がない～



左の写真は、講師の「しなの IT 活用同好会」の唐沢武男さんが人工知能に描かせたスマホのホーム画面です。参加者は、冒頭この話を聞いて驚きの声を上げました。「スマホで通話とメールだけでは意味がない。いろいろな使い方があることを知ってほしい」と話されながら講義が始まりました。

前半は、使用料を抑えるためにデータ量の見方、Wi-Fi の設定の方法、料金体系の見直し方を学びました。

後半では数えきれない機能の中のひとつ、カメラで写した物の名称を自動的に検索してくれる Google レンズ機能を体験しました。例えば、スマホで写した知らない花の名前をすぐに表示してくれます。新しい機能を知った参加者は、喜々としてスマホに触っていました。



Wi-Fiへの接続の仕方をメモする参加者



データ使用料を確認する

発行：木島平村公民館
編集：公民館報編集委員会
住所：長野県下高井郡
木島平村大字上木島1762
TEL：0269（82）2041
FAX：0269（82）4020
E-mail：
kouminkan@vill.kijimadaira.lg.jp

公民館長の

文化財めぐり

No.13

志久見古道 中野編 その1

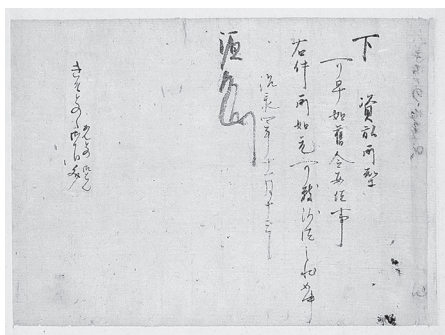
公民館事業のふるさと探検隊では、過去に志久見古道を「馬曲編」「栄村編」として2年間にわたって辿ってきました。私は、これでこの歴史探訪は完結するものと思っていました。

(現中野市)を与えたという趣旨で書かれているそうです。そして、樋口館長は、次のように話しました。

様々な資料から、中野助弘は志久見郷も治め、市川氏に引き継がれていた。このことから、中野助弘は、中野市から始まる道、志久見街道(古道)を通り、志久見郷へ行っていたと考えられる。

そんな時に、ふるさと資料館の樋口和雄館長が「鎌倉時代に、志久見郷(現栄村・野沢温泉村)を治めたのは、中野助弘で、館は中野市西条辺りにあったと伝わる」と言われました。

左の古文書は、木曾義仲が中野助弘に送ったもので、治承4(1180)年に中野郷



木曾義仲の書状(県立歴史館データベースより)

今回は、こうして実施された「志久見古道・中野編」を振り返ってみたいと思います。中野市田上の住所でありながら、牧ノ入に隣接している地区に、中小屋と呼ばれるところがあります。そして、ここには「中小屋のお薬師さん」と呼ばれる薬師如来を納めた薬師堂があります。元は赤岩にあったのですが、慶長19(1614)年の高社山の崩壊で中小屋に移ってきたものだそうです。

とてもご利益のあるお薬師さんで、中小屋に移った後も大勢の参拝者にぎわい、中



刈り払いの行き届いた薬師堂



薬師堂の裏にある大崩れの跡の巨岩

小屋の人も大切に守っていたそうです。先日改めて薬師堂の撮影に行ったところ、ていねいに草刈りがされていてまし

た。そして、この薬師堂の裏にも大崩れの跡がありました。中小屋周辺を多くの人たちが歩いたことを示すもう一つの根拠として、中小屋砦とい

う城跡の地形が確認された点が挙げられます。山城は、見



原大沢より高社山の西側を望む



厨子に納められたお薬師さん

張りの役割を果たすので、ここに道があった証とも言えます。

樋口館長は、志久見古道が高社山と虚空蔵山の鞍部を通っていたと考えるのが妥当だと話していました。

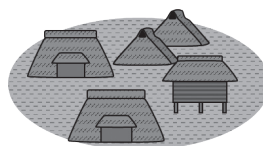
次回は、このことを更に裏付ける中野市側の史跡等について触れたいと思います。

芳原 毅彦

木島平
検定!

きじま平再発見 ～木島平検定に挑戦しよう～

No.46



問96

下高井農林高校敷地一帯は、稲荷境遺跡と名付けられ大量の古銭や五輪塔など平安時代や戦国時代の遺物が出土したことで知られています。

どつは、ここでは他の時代の貴重な遺物も出土しています。それは、次のどの時代のものでしょうか。

(① 旧石器時代 ② 縄文時代 ③ 弥生時代 ④ 奈良時代)

問97

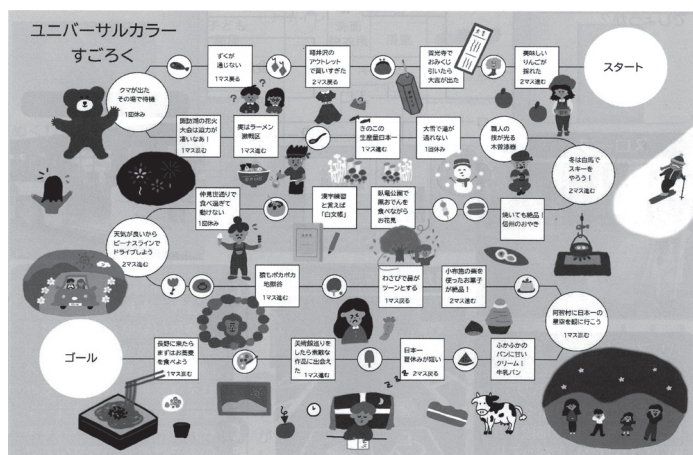
部谷沢の公会堂の一角には、仏像などを納める厨子があり、ここに善光寺様式の大変見事な仏像が安置されています。さて、その仏像は次のどれでしょう。

(① 薬師如来 ② 大日如来 ③ 釈迦如来 ④ 阿弥陀如来)

(※解答は、33ページにあります。)

人権副読本 『あけぼの』に 掲載されている 資料について④

性的マイノリティの問題とともに、見過ごされがちなものに、色覚特性の問題があります。該当される方は、日本人では、男性で5%、女性で0.2%ぐらいと言われています。このような状況の中、「あけぼの」31ページには、「誰にとっても楽しく遊べるユニバーサルカラーすごろく」の作者である青木くるみさんの話が掲載されています。



ユニバーサルカラーすごろく

青木くるみさんが作成した「ユニバーサルカラーすごろく」は、「信州共生みらいアイディアコンテスト」で「福祉を考える企業の会・会長賞」を受賞した作品です。

青木さんは、学生時代に人とは違う色の見え方をしている人がいることに驚き、「ユニバーサルカラーを知ってもらおうツール」として「ユニバーサルカラーすごろく」をつくりました。例えば、赤と緑の区別が難しい特性を持つ人が多いことから、この色使いでは、山と額縁の色が区別しにくいのでは…、この色使いなら区別できるのでは…といういろいろ想像しながら作っていました。

学校における色覚検査については、検査で「異常」と判断された場合でも、大半は学校生活に支障はないという認識のもとに、文部科学省は、2002年定期健康診断の必須項目から色覚検査を削除しました。しかし、2014年「学校保健安全法施行規則の一部改正等について（通知）」以降、色覚検査を行う動きが出てきています。

検査の希望者には、専門医の診断体制を作る必要があります。色覚に関する個人情報、過去から未来へ続く遺伝子情報であることを十分に認識することが大切です。そして、認識不足による対応で、子どもたちや家族を傷つけることが絶対にないようにしなければなりません。

人権推進室 山屋 秀夫

シリーズ ふるさと資料館の逸品②

保科百助の「岩石鉱物標本箱」

明治元（1868）年に佐久郡の立科で生まれた保科百助（号は五無齋）は、師範学校を卒業後、飯山小学校など各地の学校で勤務しました。若いころから地質学に高い関心を持っていました。明治36年、百助は岩石や鉱物の標本を自作して、注文を受けた県内100余りの学校等へ献納しました。

ふるさと資料館にある標本箱は、北部小学校の閉校時に、理科準備室から搬出したものです。つまり、120年前に穂高小学校が入手していたのです。高さ66センチほどの頑丈な木箱には、粘板岩・玄武岩・石灰岩・花崗岩など、240点が収まっています。一点ごとに名称と採集地が記されています。近年の調査によれば、現存している標本箱は40点



穂高小学校の標本箱

百助が博物館や図書館の設置を唱えたことで、信濃図書館（現在の県立長野図書館）が誕生したこと、部落差別の撤廃に向けて行動を起こしたことなどが知られています。百助が情熱的で開明的な教育者であった証です。

（ふるさと資料館長 樋口 和雄）



保科百助採集の岩石と鉱物



図書館だより

今月の一冊

木島平中学校 教諭 横山 采佳

私がおすすめする本は、東野圭吾さんの「名探偵ガリレオ」シリーズの「真夏の方程式」になります。

夏休みに伯母が経営する瑠璃ヶ浦の旅館で過ごす少年恭平。そこへ、主人公の湯川教授が宿泊者として来訪した。その翌朝、一人の宿泊者が死体で見つかった。その宿泊者は元刑事で、瑠璃ヶ浦に縁がある男を逮捕したことがあった。この死体が死に至った経緯はなにか…事故か殺人か…主人公が気づいた真相とは…

本作は、真夏の青い空と美しい瑠璃ヶ浦の海の情景が思い浮かぶ素敵な作品です。主人公の湯川教授がトリックを解明するために、少年恭平と実験をするシーンが主人公の優しさを描写しておりとても魅力的です。私としては、あまり釈然としない終わり方だなと思う反面、こういう終わり方もあるのかと納得し、視野を広げさせてもらった作品でもあります。暑い夏をミステリーで涼みつつ、ほっこりすることもできる作品になっています。ぜひ、読んでみてください。

「真夏の方程式」

著者：東野圭吾



★新着図書★

はじめてのゆかたの着付けとかわいい帯結び (大竹恵理子) がまざわたかこのおいしい手しごと (がまざわたかこ)
再発見！コメの魅力お米の未来 (大坪研一) アウトドア六法 (中島慶二ほか) 絵師金蔵赤色浄土 (藤原緋沙子)
山岳アスリートに教わる山の歩き方 (小川壮太) かっかどるどるど (若竹千佐子) 空想の海 (深緑野分)
まいまいつぶろ (村木嵐) ヨモツイクサ (知念実希人) ザリガニの鳴くところ (ディーリア・オーエンズ)
破戒 (島崎藤村) セキュリティの笑えないミスとその対策 51 (増井敏克) カティンの森のヤニナ (小林文乃)

★児童図書★

しまさんとこねこねハンバーグ (くらはしれい・タサン志麻ほか) そうなんだ！しごとのお話 (長田徹)
へんしん！ (北村直子) じぶんでできた！お弁当の本 (杉崎聡美) 釣り上達のコツ (「小学生の釣り」編集室)
なつやすみ (麻生知子)

◆利用カード 更新のお願い◆

カード発行より5年を経過した方は更新の手続きをお願いします。
ご本人であることと、現住所を確認できるものをお持ちください。
10月末までにご連絡がない方は、登録データを削除させていただきます。ご理解とご協力をお願いします。



ちっちゃな図書館

往郷911-7若者センター内 ☎82-3111(内線206) 月曜日休館
開館時間・平日9時～17時45分／土日祝8時30分～17時15分



きじま平再発見 ～木島平検定に挑戦しよう～ 解答編

問96 ② 縄文時代

稲荷境遺跡からは、加工や研磨の状態が大変良い石の斧が、たくさん出土しました。また、黒曜石の矢じりや土偶も出土しています。

顔のない土偶 (縦7cm、横9cm) →



問97 ④ 阿弥陀如来

部谷沢の公会堂は、もとは阿弥陀堂でした。両脇には、勢至菩薩と観音菩薩が安置され、善光寺仏と同じ様式になっていて、特に女性たちに篤く信心されていました。

※新編木島平史話より

阿弥陀如来と菩薩 →



社協だより

No.355

さわやか笑顔さん



高山 孝子さん
(南 鴨)

ふれあいランチを毎回楽しみにしています。
いろいろなメニューを取り入れていただき、いつも心のこもった料理をありがとうございます。

発行：社会福祉法人
木島平村社会福祉協議会
住所：木島平村大字往郷908-3
TEL：0269(82)4888
社協ホームページ
<https://sites.google.com/view/kijima-syakyo/>

小学校

“ふれあい体験学習”

高齢者疑似体験を実施

6月27日、木島平小学校で取り組む“ふれあい体験学習”にて、高齢者疑似体験を社協職員が担当しました。4年生から6年生までの児童16名が参加され、車椅子の乗車体験を実施したほか、弱視や全盲の世界を体験しました。



〈参加した児童の声〉

- ・車椅子の操作が楽しかった。
- ・車椅子を介助してもらって、早くて怖く感じた。
- ・乗る側は、突然動き出されると怖いことが分かった。
- ・弱視体験では、色によって見え辛いことが分かった。
- ・全盲体験では、声を掛けてもらっても怖かった。



下高井農林高校

“社会福祉基礎科目” 社協で学ぶ



〈感想〉

- ・安心してもらおうと声掛けしようと思ったが、操作しながら声を掛けることが難しく感じた。
- ・安全を心がけると操作に集中しがちとなり、声掛けを忘れてしまう。
- ・アスファルトが意外とゴツゴツし、振動が大きくて驚いた。



令和5年度社協会費及び日赤活動資金

ご協力ありがとうございました

村民の皆様にご協力いただきました社協会費及び日赤活動資金の総額をご報告します。(令和5年7月31日現在)

皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

今後も、地域に寄り添った活動を行います。

◆社協会費 1,591,200円／納入件数1,326件

◇日赤活動資金 408,288円／納入件数1,213件

(内訳：日赤会費38件 寄付金1,175件)



◆社協会費◆

～支えあい

安心して暮らせる村 木島平～

地域の暮らしを支える地域福祉事業の重要な財源として活用させていただきます。

なお、現在新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、活動が制限されていますが、感染予防を図りながら「今できること」に取り組みます。

◇日赤活動資金◇

～いのちを守る赤十字～

災害救護活動や救急法等の講習、奉仕団活動、看護師養成、国際活動などの日本赤十字社の活動は、皆様からお寄せいただく活動資金に支えられています。

日赤長野支部の活動内容など詳細は、ホームページに掲載されていますのでご覧ください。

<https://www.jrc.or.jp/chapter/nagano/>

この社協だよりは共同募金の配分金で発行されています。



事業所
紹介

デイサービス



デイサービスでは、その人らしく生活が送れるように現在の心身機能を維持増進するための体操やレクリエーション等を提供させていただいています。

体操では、個人に合わせて活動を取り入れており、生活動作に役立つ運動に取り組んでいます。

レクリエーションでは、体を動かす活動をはじめ、脳トレーニング等、部分強化を目的とした活動を行うほか、季節に合わせた行事（ドライブ等）を取り入れています。普段、ご自宅ではできない事を楽しんでいます。



ただけるよう日々工夫をしています。

新型コロナウイルスが、第5類感染症に移行され、外部から踊りや、楽器演奏のボランティアの方々をお呼びできるようになりました。座った状態で活動できる踊りや、一緒に歌える曲を用意していただき、地域交流ができる機会も少しずつ増えています。

これからも村民の皆様に親しんでいただけるデイサービスとなるようスタッフ一同努めてまいりますのでどうぞよろしくお願い致します。



今月のふれあいランチ

第2、4水曜日、地域ボランティアの協力により配食サービスを行っています。

1食：400円
昼食（11時～12時の間にお届けします）

栄養豊富な、手作りお弁当はいかがですか？

ご利用を希望される方は、木島平村社協（担当 尾澤）までご連絡ください。

調理にご興味のある方、配達にご協力いただける方、是非ご協力ください。

対象となる方は右記のとおりです

- ・一人暮らしの高齢者（障がい者）
- ・高齢者（障がい者）のみの世帯
- ・昼間高齢者（障がい者）のみとなる世帯



【7月12日】

- ・ごはん・夏野菜カレー
- ・だし巻き玉子
- ・きゅうりとささみの中華和え
- ・キャベツとパプリカのコールスロー
- ・ナスの揚げ浸し
- ・ミニトマト

【7月26日】

- ・牛肉とごぼうの混ぜご飯
- ・芋なます
- ・きゅうりと玉ねぎの塩こうじ漬け
- ・ズッキーニの肉巻き
- ・オレンジ

地域の千力
草刈りボランティア活動

7月12日 飯山地域シルバー人材センター 木島平班の会員約20名で社会福祉協議会周辺の草刈り作業を実施していただきました。

毎年、ご厚意による草刈り作業を実施していただき、大変助かっております。

梅雨時期の大変な作業でしたが、とてもきれいになりました。

ありがとうございました。



社協の予定 8/10～9/30

- 8/21(月) ○集まろう！通いの場「ピース」
- 8/23(水) ○ふれあいランチ
- 8/30(水) ○安心買い物ツアー
- 9/6(水) ○心配ごと相談
(相談員…人権擁護委員、民生児童委員)
- 9/13(水) ○ふれあいランチ
- 9/14(木) ○集まろう！通いの場「ピース」
○無料法律相談＜予約制＞
(相談員…長野県弁護士会派遣弁護士)
- 9/20(水) ○安心買い物ツアー
- 9/27(水) ○集まろう！通いの場「ピース」
○ふれあいランチ

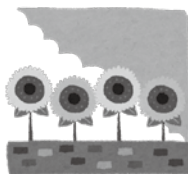
人の動き

8月掲載承諾分

※氏名の一部に常用漢字を使用・敬称略で記載

ごめいふくをお祈りします

亡くなられた日	集 落	氏 名	年 齢
7. 8	中 町	渡邊 重巳 ^{しげみ}	(78)
7.13	平 沢	高藤 和之 ^{かずゆき}	(50)
7.23	中 村	本山 制子 ^{せいこ}	(79)
7.31	中 村	川口 昇 ^{のぼる}	(87)



小林 舜くん

令和2年10月6日生まれ
(内山区 / 昭雄さん・美由紀さん)



シャボン玉やおさるのジョージがマイブームの舜くん。
ファームス木島平の遊び場の平均台をひとりで渡れるようがんばっています。

2歳くらいのお子さんを大募集！掲載されたご家庭には、ふう太ネットでの放送を収録したDVDまたはBDのどちらか1枚と広報誌3冊をプレゼントします。詳しくは政策情報係（内線114）までご連絡ください！

広報・村公式ウェブサイトの広告募集中

広報きじま平、村公式ウェブサイトへ掲載する広告を随時募集しています。

詳しくは政策情報係までお問合せください。

～暮らしに役立つ広告をお待ちしています～

世帯と人口

8月1日現在
(令和2年国勢調査に基づく推計値)



1,534 (+2)



2,028 (+1)



2,159 (-4)



4,187 (-3)

緑のダム

村長ひとこと(90)

梅雨明け以降、異常な暑さが続いています。これは主に偏西風の蛇行によるものということです。偏西風は日本の上空を西から東に吹く風で、その南側は暖かく、北側は涼しくなります。今年は日本上空で北側に蛇行しているため、日本全体が偏西風の南に入っています。今年の7月の平均気温は観測史上最高になりました。

過去126年間で平均気温が1.5度上昇したというところで温暖化が進行しているのは確かです。台風の大規模化や海面上昇、干ばつなど様々な影響が出ていると言われますが、農業にも大きな影響があり、果物や米の適地が北上しています。人が作る作物は産地を移動することができません。

しかし、森林はどうでしょう。先月号でブナについて書きましたが、ブナも温暖化とともに北上または標高が高い場所に移動します。しかし、自然界での移動速度は100年で1〜2km程度と言われます。温暖化の進行はその10倍以上と言われ、冷温帯の代表的な樹木であるブナの適地が減少しています。このまま温暖化が進むと今世紀中に日本のブナ林はほぼ無くなるという研究発表もあります。

日本は世界的にみると降雨量が多く、更に急峻な山も多くあります。その国土を保っているのは樹木の水源涵養機能です。保水し、徐々に水を放出することで洪水を調整し、地形が保たれています。特にブナは水を好み保水力が高いため「緑のダム」と言われます。ブナが減り、山が荒れると洪水などの災害が発生しやすくなります。温暖化は直接、間接問わず様々な問題を生み出します。

木島平村長 日臺 正博



きじま平

◆令和5年 8月10日 (毎月1回発行)

◆有限会社 高錦堂印刷所

◆発行／木島平村 〒389-2392 長野県下高井郡木島平村大字往郷 914 番地 6 ☎ 0269 (82) 3111

木島平村公式ウェブサイト 自然劇場きじま平 <http://www.vill.kijimadaira.lg.jp/>